

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

施策	施策 10 多世代交流の仕組みづくり
評価指標	多世代交流事業実施団体数
目標値	令和 7 年度までに 5 団体

工程表

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標	→					
	実施団体数 2 団体	実施団体数 3 団体	実施団体数 3 団体	実施団体数 4 団体	実施団体数 4 団体	実施団体数 5 団体
実績	→					
	一部の計画していた活動はできなかった。					

市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
1 地域における多世代交流の場づくりの推進	それぞれの地域特性に合った多世代交流事業について、住民や社協と一緒に検討し、継続的に実施することができるよう、場所や体制の調整を行います。 また、特定の拠点で実施している多世代交流事業を、市内全域に拡大して展開することや、対象者の決まった既存事業を活かし、参加者の世代を拡げ新たな交流の場として応用することなどを検討します。	【令和 7 年度の実施状況】 - 引き続き、公民館、地区センター、コミュニティセンター、地域福祉センター内の各施設を住民等の交流の場として、貸出を実施しました。 【計画期間の評価】 - 令和 3 年度に和光市初となる PPP/PFI(公民連携)事業として複合施設「わぴあ」を整備し、多世代交流の場が創出されました。また、令和 5 年度には「多世代交流・サードプレイス部会」を発足し、市民や事業者との意見交換を通じて、地域における多世代交流の場づくりの推進を図りました。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
		【第五次計画の実施事項】 ・引き続き、多世代交流が継続的に実施することできるよう、関係機関と連携しながら、場所や体制のあり方について検討します。
2 新しい参加者の取り込み	地域活動やイベントについては、特定の住民のみが参加している状況があるため、今後はこれまで地域との関わりを持っていなかった住民を取り込んでいくことが重要になってきます。 関係各課や社協、学校、各支援センターなどと連携し、様々なイベント・事業等において周知を行います。	【令和 7 年度の実施状況】 ・地域活動やイベントについて、広報わこうや市ホームページの他、市公式 X（旧 Twitter）、Instagram、LINE 等様々な方法を用いて、幅広い世代に向けた周知活動を行い、新たな参加者の取り込みを図りました。 【計画期間の評価】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動やイベントが制限された時期もありましたが、活動の在り方を工夫しながら、SNS 等の新たな手法を活用した情報発信や関係機関との連携による周知を行いました。 【第五次計画の実施事項】 ・引き続き、上記の実施に加え、「WA-COLLE」を活用することで自治体が管轄する行政情報の発信だけではなく、地域の住民や企業・団体等と連携をはかっていきます。
3 幅広い世代が参加する交流イベントへの支援	市民活動推進課など市内各課と連携・情報共有し、各団体の交流イベント実施に当たって必要な支援を行います。また、他市事例等の情報収集を行い、新たなイベント案等を検討し、地域住民に対し積極的に提案を行います。	【令和 7 年度の実施状況】 ・多世代・多文化等様々な主体が交流し繋がりを形成する機会として、和光市民まつりやわこらぼまつりをはじめとした各種イベントを開催し、事務局や当日の会場運営等の支援を行いました。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
		【計画期間の評価】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動やイベントが制限された時期もありましたが、活動の在り方を工夫しながら各種イベントの実施を支援し、事務局運営や会場運営等を通じて地域活動の継続を図りました。 【第五次計画の実施事項】 ・引き続き、地域共生社会の実現に向けて、各団体の活動を支援するとともに、既存事業を活かしながら、幅広い世代が参加できる交流イベントの企画・実施を検討し、世代の拡大と新たな交流の場の創出を図っていきます。

社協の取り組み

	計画の記載	今年度の実施状況・今後の実施予定
1 世代を超えた交流の仕組みづくりを支援	現在、我々社協は、児童から高齢者まで多様な方々が集える事業所運営や事業を展開するほか、小地域福祉活動や地区社協活動、ボランティア活動等を支援しています。 それぞれの事業所の強みを活かし、地域住民同士の顔が見える関係、世代を超えた交流の仕組みづくりを支援していきます。	【令和 7 年度の実施状況】 ・社協運営施設の事業や小学校での授業やあいさつ運動に地区社協の方やボランティアの方が参加し、多世代交流を行いました。 また、社協が運営する学童クラブでは、ハロウィン行事やクリスマス行事などを地区社協とコラボし、交流を行いました。 【計画期間の評価】 ・社協運営施設の事業において、様々な事業を行うことで、施設と地域のつながりができ、施設への理解や

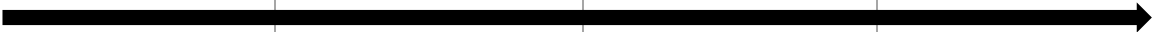
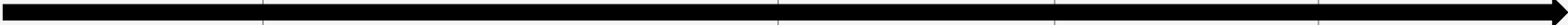
第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
		地域の方が活躍する場にもなった。 【第五次計画の取組事項】 ・引き続き気軽に参加できるイベントや交流の場が増えるよう、支援していきます。
2 地域の社会資源を拠点とした事業の実施	高齢者だけではなく、子育て世代や子どもも含めた健康づくりや、交流を目的とした体操教室やサロン、戦争体験話など、子供たちへの継承が必要な平和の集いなどを開催します。 また、シニアが伝承できる昔遊び、あるいは子どもたちが行っているわこうっちカルタなどの遊びや、自然環境や文化を活かし、地域の方との苗植えや収穫の食育体験、川や湧き水の清掃や整備、文化や歴史に由来した講座や遊びなど地域特性や環境に応じた取り組みを行います。	【令和 7 年度の取組状況】 ・戦争体験についての語りの場や施設のおまつり、自然環境団体の協力による行事など、高齢の方、施設の利用者や子ども、地域住民が交流を行いました。 【計画期間の評価】 ・社協運営している施設にて、様々な年代の方が関わる取り組みを行うことができ、計画通りに進めることができました。 【第五次計画の取組事項】 ・引き続き、上記のような取組を行うことに加え、学童クラブで子どもたちを見守る、概ね 55 歳からのボランティア「プラチナぱぱ・ママ」について周知をしていき、新たな方を取りこみながら世代間交流を図っていきます。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

施策	施策 11 多文化共生の推進
評価指標	和光市国際化推進計画において、今後調査により把握された地域に暮らす外国籍市民の生活課題を踏まえ、評価指標及び目標値の設定を検討
目標値	

工程表

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標						
	多文化共生のための施策検討・方向性のとりまとめ		多文化共生のための施策の実施			
実績						
	福祉関係課に対応状況調査を行った。	他部局が策定する計画と合わせて、取組を推進する。				
目標						
	評価指標の検討（次回中間見直しまで）					
実績						
	和光市国際化推進計画において調査方法の検討事項があることを確認した。	和光市国際化推進計画の調査方法の検討事項の支援・協力をしていく。				

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する
市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
1 多文化共生のための施策の検討	市内関係部局と調整、あるいは他自治体の対応事例を調査するなどして、多文化共生のためにどのような取組が出来、また効果があるのかを検討し、そのうえで施策として実施していきます。その施策の実施のために、必要であれば予算措置を行います。	【令和 7 年度の実施状況】 ・和光市国際化推進計画に基づき、ホームページや窓口、印刷物で多言語・やさしい日本語での情報提供をしています。また、市内の外国人支援団体が開催する日本語教室（令和 7 年度は 98 回開催）への支援を行いました。行政文書の英語への翻訳計 4 件を多文化共生ボランティアに依頼・実施しました。 【計画期間の評価】 ・和光国際化推進計画に基づき、継続して多言語やさしい日本語についての情報提供を行いました。また、ボランティアや地域団体の協力を得て、市内の外国籍住民が安心して暮らせるまちづくりについて推進しました。なお多文化子育て支援事業については、要件として対象世帯が限定されており、ニーズの薄れがあるため、令和 6 年度で終了しました。 【第五次計画の実施事項】 ・今後も継続してホームページ等でのやさしい日本語や外国語での情報発信に努めます。また、外国籍住民にサービスが提供できるよう、多文化共生ボランティア制度の周知や事業内容の改善を図るとともに、外国人総合相談センター埼玉の電話仲介通訳制度、出入国在留管理庁通訳支援事業等を積極的に活用します。
2 評価指標の検討	現在、外国人が増加している傾向にある一方で、外国人と地域で生活していくにあたってのニーズを知るための調査・指標等があり	【令和 7 年度の実施状況】 ・令和 8 年度に実施予定の意識調査等に係る事業計画の策定を行いました。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
	ません。そのため、今後実施する調査等において、実態の把握、また施策の進捗評価が出来る指標の検討を行います。	【計画期間の評価】 ・第三次和光市国際化推進計画に基づく施策の実施状況について調査を実施しています。令和 6 年度より（財）自治体国際化協会に職員を派遣し、地域における多文化共生に関する知見を深めています。 【第五次計画の実施事項】 ・外国籍の住民を対象に意識調査を実施し、住民のニーズを把握した上で和光市国際化推進計画の見直し、施策の評価指標の検討を行います。

社協の取り組み

	計画の記載	今年度の実施状況・今後の実施予定
1 多文化共生を意識した施設運営	地域に暮らすすべての人が、国や文化の違いを超えて、理解しあい、ともに支えあいながら、安心して暮らせる地域を目指します。 そのために、運営施設においては利用の対象や事業範囲などを考慮し、発行物に送り仮名やイラストを盛り込むなど、ユニバーサルデザインの 7 原則を意識します。 また、ごみの出し方などの生活ルールについて多言語で表記し理解を促すなど、外国の方の地域生活での利便が高まり、地域住民も安心して暮らせるようになる取り組みを支援するとともに、多文化との共生に取り組む団体などと連携を深めていきます。	【令和 7 年度の実施状況】 ・施設のおたよりや、案内物等、誰でもわかりやすい記号を利用し、掲示しました。 また運営施設によっては外国の幼児用書籍や海外の玩具等の購入や翻訳アプリなどを活用して対応した。 【計画期間の評価】 ・計画通りに進めることができた。 【第五次計画の実施事項】 ・引き続き、多言語表記や、ユニバーサルデザインの表記に努め、必要に応じて子育て通訳サポートなどの情報を提供していきます。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
2 多文化共生の観点を含めた福祉共育の実施	福祉共育の観点では、障害や高齢に関することだけでなく、多文化共生についても内容に含め、子どものうちから多文化共生についての意識が醸成されるようにしていきます。	【令和7年度の実施状況】 ・誰でも参加できるスーパー公民館ディスコを開催。海外の方も参加していた。 【計画期間内の評価】 ・誰でも参加できる事業を行うことができ、計画通りに進めることができた。 【第五次計画の実施事項】 ・多様な福祉共育の在り方を提案し、多文化共生についての理解促進に努めていきます。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

施策	施策 12 ひきこもり対策
評価指標	ひきこもり関係事業の実施回数
目標値	中間見直しまでに検討⇒令和 5 年度の計画進捗管理において、目標値の設定

工程表

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標	ひきこもりセンター（仮称）の設置及びひきこもりに関する普及啓発活動の実施					
実績	アウトリーチの開始	アウトリーチの開始	ひきこもりセンターの設置			
目標			当事者家族のための情報共有の場の設置			
実績		当事者家族のための情報共有の場の設置（1 年前倒し）				

市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
1 ひきこもりセンター（仮称）の設置と早期発見・早期介入	ひきこもりセンター（仮称）を設置し、民生委員など地域の実情を知る住民と情報共有することで、ひきこもりの発見とアウトリーチ型の支援に繋がります。支援にあたっては、適切なアセスメントを実施し、それぞれの状況に合わせたプランを立てた上で伴走型の支援を行っていきます。	【令和 7 年度の実施状況】 ・アウトリーチ（自宅訪問等）を実施し、訪問を重ねることで信頼関係が築かれ、支援につながる事もあったため、有効性が確認できました。 【計画期間の評価】 ・家族に対しひきこもりの方に対する理解を促すため、アウトリーチ支援等に努めました。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

	計画の記載	令和7年度の取組状況・計画期間の評価 第五次計画の取組事項
		【第五次計画の取組事項】 ・民生委員や地域住民の連携により、気になる世帯等への見守りにより早期発見に努め、ひきこもりセンター早期介入し早期介入し伴走型支援を実施するように努めます。
2 世帯に対する包括的支援の実施	ひきこもりを抱える世帯においては複合する課題を抱えるケースも多いため、的確に問題を把握し、家族に対する適切な助言・指導を行うなど、本人に対する支援だけではなく、世帯に対する包括的な支援を実施します。	【令和7年度の取組状況】 ・家族（親族）からの相談については、まずはひきこもりの方に対する理解を促し、チームとしてアプローチするための協力体制の構築に力をおいて支援にあたりました。 【計画期間の評価】 ・複合する課題を抱えたケースにも、適切な助言・指導を行うよう努めました。 【第五次計画の取組事項】 ・引き続き、ひきこもりの方に対する理解を促し、家族の協力を得ながら支援を行います。
3 当事者家族のための情報共有の場の設置検討	ひきこもりの当事者やその家族同士が情報を共有したり、悩みを相談できるような場づくりを検討します。	【令和7年度の取組状況】 ・ひきこもり当事者同士の交流の場としてフリースペースや家族向けのひきこもり相談会に加え、勉強会や交流会も開催しました。併せて四市及び朝霞保健所と合同家族教室を開催しました。 【計画期間の評価】 ・新たに四市及び朝霞保健所と合同家族教室を開催するようになり、広域での家族同士の情報共有が行えた。 【第五次計画の取組事項】 ・多くの人に活用していただけるよう、フリースペースやひきこもり相談会の充実や周知・広報に引き続き努めてまいり

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
		ます。

社協の取り組み

	計画の記載	今年度の実施状況・今後の実施予定
1 認められる機会 づくりの支援	社協が運営する事業所において、それぞれの事業を活用し、学校や会社などとは別のコミュニティなどで、認められ、受け入れられる機会について支援をしていきます。 また、I C Tを活用することでひきこもり状態でも活動に参加できるなど、対象者の特性に応じた対応も検討します。 また、平成 27 年度より運営している、和光市くらし・仕事相談センターすたんど・あっぷにおいて実施している就労支援事業として相談の支援を行うほか、サロン活動、ボランティア作業を通して、就労準備や中間的就労につなげます。	【令和 7 年度の実施状況】 ・令和 6 年度と比べすたんどあっぷにおける相談件数は年々増加しています。また、当事者のためのフリースペースを月 1 回開催、家族交流会を年 4 回、家族向け勉強会を実施しました。 【計画期間の評価】 ・すたんどあっぷでは相談件数は年々増加しており、またひきこもりの方を対象としたフリースペースや家族交流会を定期的に行うことで、居場所にもつながるなど相談だけにとどまらない取り組みを行いました。 【第五次計画の実施事項】 ・引き続きすたんどあっぷの周知を積極的に行います。また、地域に積極的に向かい、相談しやすい環境へつなげていく。当事者交流会などを開催し、当事者の居場所や家族の負担軽減の機会を作っていきたい。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

施策	施策 13 自分らしくいられる居場所づくり
評価指標	小地域福祉活動（見守り活動やふれあいサロン活動）団体等の活動拠点や社会資源のマップ化
目標値	令和 4 年度までに作成⇒令和 5 年度以降の計画進捗管理において、目標値の設定

工程表

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標	 小地域福祉活動団体等のマップ作成・管理・活用					
実績						
	マップ案を作成し、地域ケア会議にて試験的に使用開始した。	助成金の交付や、既存の公共施設における活動の場の活用について検討を行った。	助成金の交付や、既存の公共施設における活動の場の活用について検討を行った。	高齢者向けウェブプラットフォーム GBER の運用を開始し、地域団体の活動拠点や社会資源のマップ化を実現した。	高齢者向けウェブプラットフォーム GBER 上により多くの地域団体の活動拠点や社会資源が掲載できるよう、地域団体に声掛けを行った。	高齢者向けウェブプラットフォーム GBER 上により多くの地域団体の活動拠点や社会資源が掲載できるようにしたところ、地域団体の活動参加者数が増加した。

市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
1 居場所づくりの検討	誰も取り残さない地域を構築するために、身近で、自分らしくいられる居場所づくりを検討します。具体的には、既存の公共施設の有効活用の検討に加え、新たな空き家・空き店舗などの利用、またその促進につながるよ	【令和 7 年度の実施状況】 ・居場所として各地区社会福祉協議会で地域実情に即したサロン等の活動が行えるよう生活支援コーディネーターが支援するとともに、介護予防活動補

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
	うな取組を、社協と連携して行います。	助金による活動支援を行いました。 また、高齢者向けウェブプラットフォーム「GBER」上により多くの地域団体の活動拠点や社会資源が掲載できるよう、生活支援コーディネーターの協力のもと様々な地域団体に声掛けを行いました。 【計画期間の評価】 ・高齢者向けウェブプラットフォーム GBER 上により多くの地域団体の活動拠点や社会資源が掲載できるようにしたところ、地域団体の活動参加者数が増加した。令和 5 年度から開始した高齢者版ファミリーサポート事業および就労的活動支援コーディネーター事業の広報活動を展開しているが、まだまだ活用する高齢者が限定的でありさらなる市民周知が必要である。 【第五次計画の実施事項】 ・引き続き、住民が主体となり活動できる身近な居場所づくりの支援について地域資源の見える化をさらに進めていきます。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 4 地域特性を活かしたつながりづくりを推進する
社協の取り組み

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
1 居場所の整備と確保の支援	サロン活動や子ども食堂など、居場所は、高齢者、子ども、障害者や子育て世代、外国人などあらゆる住民の課題を解決する手法の一つになっています。 誰もが、地域で気軽に立ち寄れる機会が住民の役割発揮の場となるとともに、身近な相談窓口として機能するよう、居場所の整備を進めていきます。 具体的には、現状の活動拠点と小地域福祉活動を整理したうえで、公共施設の活用をはじめ、空き家や空き店舗などの活用に向けて、広報媒体による情報収集や所有者へ働きかけるとともに、小地域福祉活動などの拠点をマップにまとめた一覧などの情報を発信し、拠点の活用や共有が行われるよう支援します。 また、ボランティアの協力により運営される寄り合いどころ「たまりば」のような居場所づくりが、住民主体で進むよう、小地域福祉活動助成を行うほか、埼玉県社会福祉協議会等の助成金事業の情報提供を行います。	【令和 7 年度の取組状況】 ・地域福祉活動助成金の交付、他団体の助成金情報の提供、申請補助を行いました。たまりばでは、地区社協、ボランティアによる運営を行い、地域の居場所の一つとなっています。また、地域ではサロンや地域食堂などが開催されており、様々な年代の方が参加しています。 【計画期間内の評価】 ・誰でも参加できる地域食堂や子どもの居場所など地域に居場所が立ち上がり、またこのような活動を支援する団体も設立されました。 【第五次計画の取組事項】 ・各地区社会福祉協議会と小地域福祉活動が相互に発展するよう連携しながら、住民主体の居場所が増えるよう、支援を行います。
2 他法人等との連携による居場所づくりの推進	自分らしくいられる居場所が維持できるよう、地域における公益的な取り組みとして、施設の開放や、地域福祉に資する事業について、他の社会福祉法人等と連携し、進めていきます。	【令和 7 年度の取組状況】 ・5 月に和光市社会福祉法人連絡会による村木厚子氏の講演会を開催。 【計画期間内の評価】 ・計画期間内に法人連絡会を設立しました。 【第五次計画の取組事項】 ・引き続き公益的な取り組みを推進していきます。